技術と信頼のトレードマーク

NIPPO

IM63

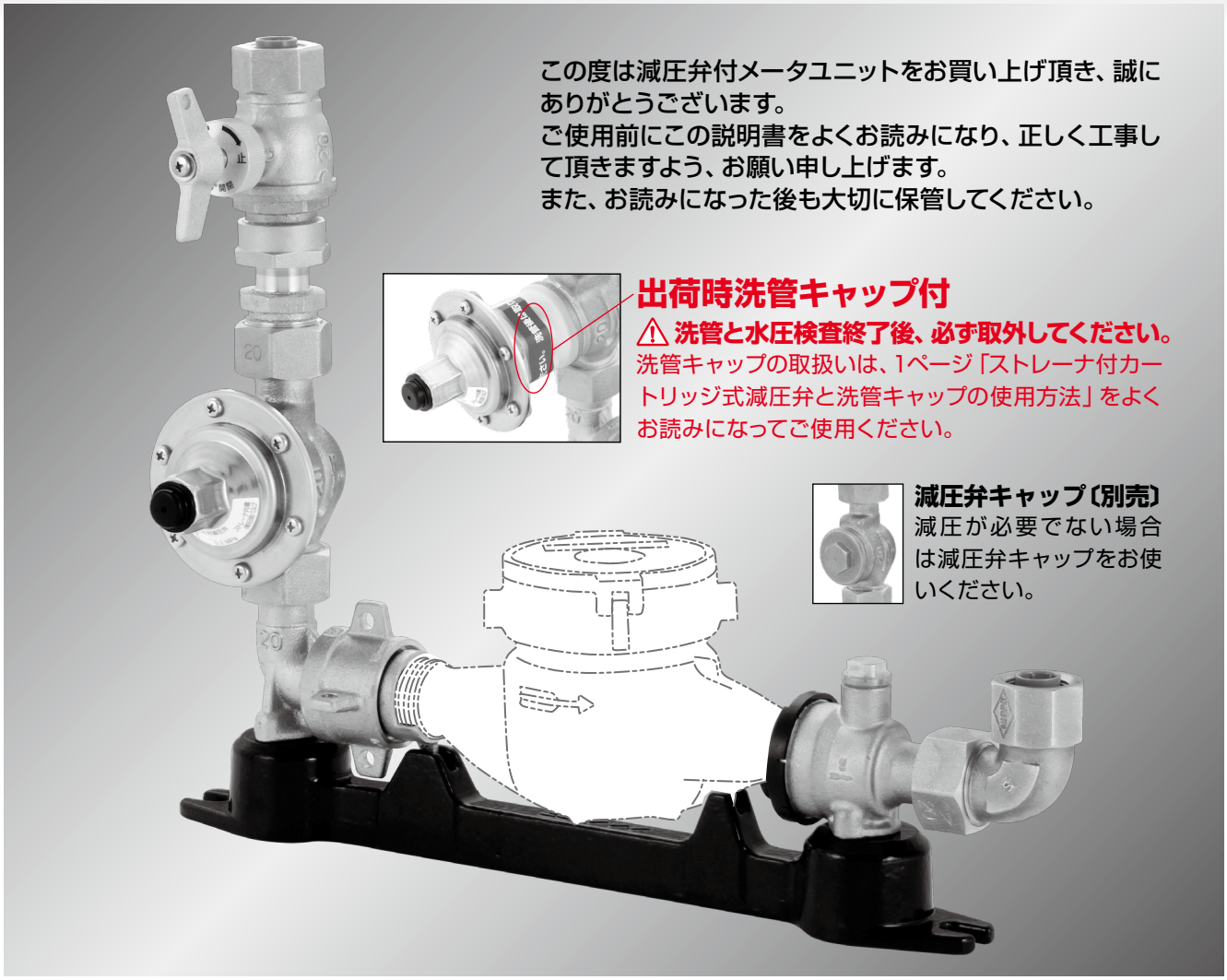
パイプシャフト用

減圧弁付メータユニット

RMUPⅡ
RMUPⅡ・U

取扱説明書

JWWA M-244



この度は減圧弁付メータユニットをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの説明書をよくお読みになり、正しく工事して頂きますよう、お願い申し上げます。
また、お読みになった後も大切に保管してください。

出荷時洗管キャップ付

⚠ 洗管と水圧検査終了後、必ず取外してください。

洗管キャップの取扱いは、1ページ「ストレーナ付カートリッジ式減圧弁と洗管キャップの使用方法」をよくお読みになってご使用ください。

減圧弁キャップ〔別売〕
減圧が必要でない場合は減圧弁キャップをお使いください。

■仕　様

項目 ＼ 呼び径		13	13L	20	25S	25
使用流体		水道水（常温）				
使用圧力		1.0 MPa 以下				
使用(適合)メーター	全長(mm)	100	165	190	210	225
	ねじの仕様	都(普通・舶来)ねじ ／ 上水(協会・統一)ねじ 共用				

	種類	二次側設定圧力 (MPa)	二次側圧力調整範囲 呼び径	二次側圧力調整範囲 範囲 (MPa)
減圧弁（呼び径13と呼び径20はカートリッジ共用）	RDⅡM（標準圧仕様）	0.2／0.25／0.3（その他設定圧力は特注品）	13・20	0.2 ～ 0.3
			25	0.15 ～ 0.3
	RDⅡL（低圧仕様）※	ご指定ください（特注品）	13・20	0.1 ～ 0.2
	RDⅡH（高圧仕様）	ご指定ください（特注品）	13・20	0.3 ～ 0.4
			25	0.3 ～ 0.4
	二次側設定圧力許容差範囲：±0.02 MPa			
	定格流量(差圧0.1MPa以上) ・呼び径13：30 ℓ/min ・呼び径20：50 ℓ/min ・呼び径25：85 ℓ/min			

※ 呼び径13・20は中間低圧仕様(二次側圧力調整範囲:0.15～0.25MPa)も用意できます。

■取扱い上の注意事項

⚠ 注　意

- ●仕様の範囲でご使用ください。規定外での使用は、機能低下や破損の原因となります。
- ●保管は直射日光や雨水を避け、器具の内部にごみやほこりが入らないようにしてください。
- ●取扱い中、器具の落下等に注意してください。損傷によって漏水や故障の原因となります。
- ●解氷作業等での直火等による加熱は、漏水の原因となりますのでおやめください。

素敵な創造 ～人へ・未来へ

NIPPO VALVE 株式会社 日邦バルブ

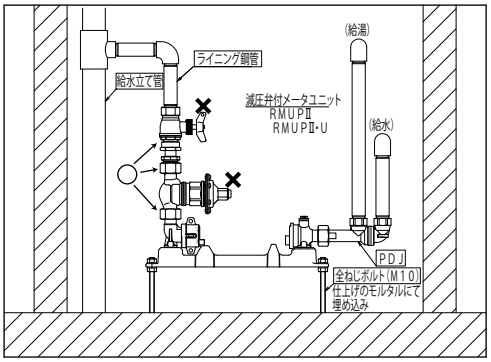
■設置時の注意事項

●パイプシャフト内は、点検や交換時等の戻り水による被害を防止する為、防水処理又は、排水処理等の処置を講じてください。
●配管は、ユニオン、エルボ返し、フレキシブル継手等により、ユニットへ無理な力が加わらない状態で、ユニットの取替えができる接続としてください。
●保守点検・操作の為、適切な取付け位置・支持及び必要な作業空間を確保してください。
●取付け前の配管は、洗浄・排水し、内部の異物を取除いて、清浄な状態としてください。
●ユニットの流れ方向表示と配管の流水方向を合わせて、水平に設置してください。
●各配管接続部は右表の標準締付トルクにより、必ず締付けてください。

テーパねじ締付トルク　(N･m)

呼び径 13	呼び径 20	呼び径 25
20	25	30

●接合は、シールテープまたはコンパウンド等を使用し、確実にねじ込んでください。この時、配管の芯合わせ等による無理な力をユニットに掛けないでください。
●高さ・水平調整は、全ねじボルト（M10）等を使用して行い、ユニットの自重による配管の変形や破損、または、震災において配管の損傷が生じる恐れがある場合は、適切な支持等の措置を講じてください。また、アンカーボルトで床に固定する時には、防振ゴム等を使用し、ユニットを直接床面に密着させないでください。
●減圧弁とボール止水栓は、それぞれ操作し易い位置に360°自由に向きを替えられます。図○部のナットを、少し緩めた状態で回転させて向きを決めた後、レンチ等を使用して十分に締付けてください。
●設置後、宅内の給水栓を全開にして十分にフラッシングし、内部の異物を排出してください。この時、洗管キャップは取外さないでください。また、洗管や水圧検査の際には、図○部のナットがしっかりと締付けられていることを確認し、下記「ストレーナ付カートリッジ式減圧弁と洗管キャップの使用方法」をお読みの上、作業を行ってください。尚、洗管キャップはストレーナ機能を持ち、**洗管終了後、捕捉した異物とともに必ず取外します。**

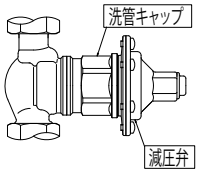


●図✕部のような突出箇所等、ユニットには足を掛けたり乗ったりしないでください。器具の破損や故障の原因となります。
●設置終了後、適切な保温・防寒施工をしてください。専用の保温カバーを別売しております。
●冬期に施工中のユニットの凍結には十分ご注意ください。防寒パット等を使用して保護してください。

■ストレーナ付カートリッジ式減圧弁と洗管キャップの使用方法

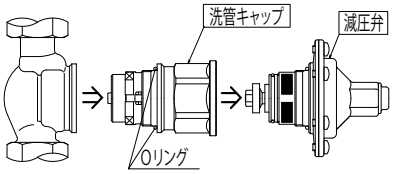
⚠ 洗管キャップを取付けた状態のまま使用すると、減圧されません。また、長期使用時には漏水する可能性があります。洗管と水圧検査終了時には**必ず洗管キャップを取外し、**減圧弁を取付けてご使用ください。

1. 必ず洗管キャップを付けた状態（出荷時の状態）で、洗管と水圧検査を行ってください。メータ部には市販の代用管をご使用ください。



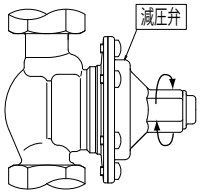
⚠ 洗管キャップを外し減圧弁が直接付いた状態で洗管と水圧検査を行うと、減圧弁の機能に支障をきたす恐れがあります。

2. 洗管と水圧検査終了時、ねじ込まれている洗管キャップと減圧弁を手で左に回して取外します。



⚠ 洗管キャップを取外す際、洗管キャップに付属しているOリングが本体側に残ってしまう場合があります。この状態で減圧弁を取付けると、漏水する可能性があります。**必ず本体側にOリングが残っていないことを確認**の上、減圧弁を取付けてください。

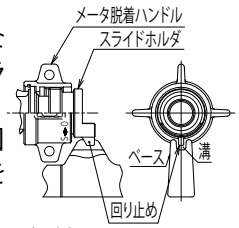
3. 洗管キャップを取外した状態の減圧弁を、手で右に回して直接ねじ込みます。



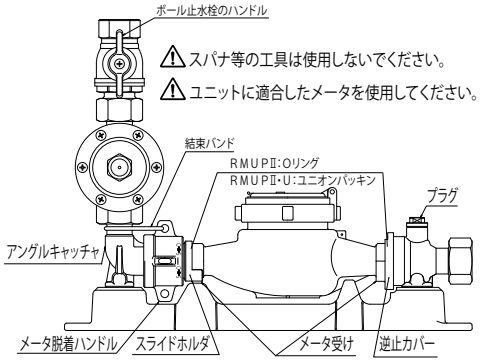
⚠ すき間があかぬ様、十分にねじ込んでください。（締過ぎに注意）

■操　作

●ボール止水栓はゆっくり開閉し、全開・全閉で使用してください。中間開度で使用しますと、キャビテーション現象や、弁体の摩耗、振動、騒音の発生、及び器具の性能低下や止水不良を招きます。
◎スライドホルダは、メータまたは代用管を取付けていない状態で前進させないでください。前進させると、スライドホルダが回り止めを外れ回転してしまいます。
その様になってしまった場合には、スライドホルダの回り止めをベースの溝に嵌合させ、メータ脱着ハンドルを「O」側に回してスライドホルダを後退させてください。



●水道メータの取付けは、以下の手順を参考にして行ってください。
1. ボール止水栓のハンドルを右に90°回して閉栓します。



2. メータ脱着ハンドルを手で回し、スライドホルダを後退させて、洗管と水圧検査時に使用した代用管を取外します。
3. 水道メータの流れ方向表示をユニットの表示に合わせ、メータ受けにのせます。
   ★この時、スライドホルダ及び逆止カバーにOリング（メータ圧着がOリング方式によるRMUPⅡの場合）やユニオンパッキン（メータ圧着がユニオンパッキン方式によるRMUPⅡ・Uの場合）が装着されていることを確認してください。
4. メータ脱着ハンドルを手で回し、スライドホルダを前進させ、水道メータに確実に圧着させます。
5. ボール止水栓のハンドルを左に90°水撃が発生しないようゆっくり回して開栓し、メータ圧着部及びスライドホルダ・メータ脱着ハンドル嵌合部より漏水等の異常のないことを確認してください。
6. 緩み防止として、メータ脱着ハンドルを締める方向に、アングルキャッチャとメータ脱着ハンドルを付属の結束バンドで結んでください。

⚠メータ交換時には、パッキン類の交換をお勧めいたします。

⚠ 注 意（メータ圧着のOリング・ユニオンパッキンについて）

●Oリング式にユニオンパッキンを（ユニオンパッキン式にOリングを）入れないでください。

●メータ交換の際は、下記の指定品をご使用ください。

■メータ受けのOリング（RMUPⅡの場合） mm

呼び径	規格・呼び	内径	線径
13,13L	P-16（JASO 2016）	15.8	2.4
20	JASO 2023	23.3	2.4
25,25S	JASO 2030	29.7	2.4

■メータ受けのユニオンパッキン（RMUPⅡ・Uの場合） mm

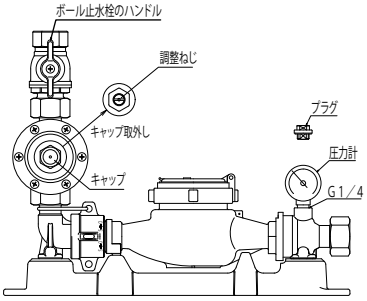
材質・種類		NBR、1種 A-70
呼び径	13,13L	φ24×φ14×3
	20	φ30×φ21×3
	25,25S	φ38×φ26×3

●上水（統一・協会）ねじ／都（普通・舶来）ねじ 共用

■メンテナンス

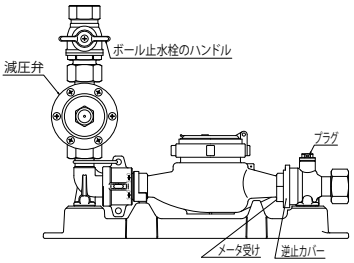
●減圧弁や逆止弁のメンテナンスを行う場合には、以下の事項を参考に作業を行ってください。

〔減圧弁　二次側圧力の点検と調整方法〕

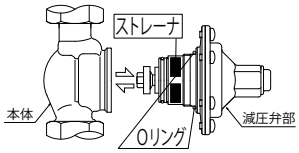


1. ボール止水栓のハンドルを右に90°回して閉栓します。
2. 逆止弁部のプラグを外し、圧力計を取付けます。尚、オプション品（別売）として「圧力検査工具（圧力計、パッキン付）」を用意しています。シールテープ不要で読取り面の向き合わせをする必要もなく、圧力計が簡単に取付けられます。また、メータの設置前に二次側圧力の点検及び調整を行う場合には、「テスト孔付代用管」が便利です。その際には逆止弁部のプラグは外さないでください。
   ★戻り水が出ますので防水や排水処理等の処置を講じてください。
3. ボール止水栓のハンドルを左に90°水撃が発生しないようゆっくり回して開栓し、次に二次側に設置されている給水栓等を開けて、水を流し空気を十分に抜いた後、圧力を点検します。設定圧力を変更する必要がある場合には、次の手順で行ってください。
   ①キャップを取外します。
   ②調整ねじを回して調整し、圧力を設定してください。右へ回すと圧力が上がり、左へ回すと下がります。調整の目安としては、1回転で約0.04MPa（標準圧仕様）、約0.03MPa（低圧仕様）、約0.05MPa（高圧仕様）変動します。
   ③目安とする回転数を回した後、必ず二次側に設置されている給水栓等を2～3回開閉して、二次側圧力が安定し、目標の設定圧力になっているか、圧力計で確認してください。
   ④目標の設定圧力になるまで②③を繰り返し、微調整してください。
   ⑤キャップを取付けてください。
4. ボール止水栓を閉じ、圧力計を取外してください。
5. 逆止弁部のプラグを締めてください。
6. ボール止水栓を左に90°水撃が発生しないようゆっくり回して開栓し、漏水等の異常のないことを確認してください。

〔減圧弁の交換〕



1. ボール止水栓のハンドルを右に90°回して閉栓してください。
2. 二次側圧力を抜きます。
   ・宅内の給水栓を開けるか、もしくは逆止弁部のプラグをゆっくりと開け、二次側の圧力を抜いてください。
3. 減圧弁部はカートリッジ式であり、電球交換と同じ要領で手で左に回して取外します。（手で回らない場合は、レンチ等を使用して回してください。）
   ★カートリッジ式減圧弁を取外す際、図のOリングが本体に残っていないことを確認してください。
4. 交換品に、砂・ゴミ等が付着しないよう注意し、また、減圧弁カートリッジにOリングが装着されていることを確認した上で本体に挿入し、手で右に回してしっかりねじ込んでください。（締過ぎに注意）
   ★無理にねじ込むとねじ山をつぶしてしまい、取付けできなくなります。確実にねじを嵌合させてから、**すき間が開かないよう**十分にねじ込んでください。
5. ボール止水栓のハンドルを左に90° 水撃が発生しないようゆっくり回して開栓し、漏水等の異常のないことを確認してください。
   ・但し、二次側圧力を抜いた際に逆止弁部のプラグを開けた場合には、プラグを締めた後、ボール止水栓を開栓してください。



〔ストレーナの清掃〕

●減圧弁を取外し、ストレーナに付着している異物を、歯ブラシ等を使用して取除きます。

逆止カートリッジ

〔逆止弁の清掃・交換〕

●逆止弁の性能を維持するために点検や部品交換が必要です。メータ受けを外し逆止カバーを回すと、逆止カートリッジが取出せ、清掃・交換ができます。

減圧弁キャップ

〔減圧が必要でない時〕

●減圧弁カートリッジを外し、減圧弁キャップを取付けてください。

■スライドホルダのメンテナンスについて※

※弊社ホームページに詳しい方法を掲載しています

①「■操 作」に従い、所定の手順でメータを取外してください。

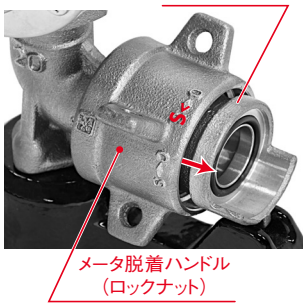
②スライドホルダをメータ脱着ハンドル（ロックナット）内から取外します。
・メータ脱着ハンドルを「S」の矢印の方向に手で回していくとスライドホルダが前進して（せり出して）きます。【図A】
・そこから更にメータ脱着ハンドルを「S」の矢印の方向に手で回し、完全にねじの嵌合を外してスライドホルダを取外します。【図B】
・スライドホルダを手に取ります。内面（摺動部）に1本ないし2本のOリングが見えます。【図C】

③スライドホルダ内のメンテナンスを行います。
・摺動部、Oリングに付着した異物や堆積物をウエスや綿棒等で拭き取ってください。
・Oリングに付着した異物や堆積物を拭き取ることができない場合、また破損が認められた場合はOリングを新品のものと交換してください。

④異常を取除いたのち、②と反対の手順にてスライドホルダをメータ脱着ハンドル（ロックナット）内に戻します。
・スライドホルダが傷付かないよう、ゆっくりと慎重にスライドホルダの凸部をベースの凹部に入れて（★部）、メータ脱着ハンドル（ロックナット）内へ嵌入し、ねじを嵌合させてメータ脱着ハンドルを「O」の矢印の方向に手で回してスライドホルダを後退させ（引込ませ）ます。【図D】
※注意事項：「■操 作」の◎をご参照ください。

⑤「■操 作」に従い、所定の手順でメータを取付けてください。

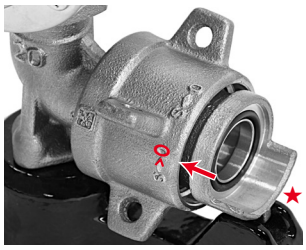
図A



図B

図C

図D



⚠ 注 意　（スライドホルダ内面のOリングについて）

●スライドホルダ内面のOリングを新品のものと交換する際は、下表のOリングを使用し（弊社販売品推奨）、市販のグリスを塗布してください。

■スライドホルダ内面のOリング　mm

呼び径	規格	呼び番号	内径	太さ
13	JIS B 2401	P20	19.8±0.22	2.4±0.09
20	JASO F404	2026	26.2±0.15	2.4±0.07
25	JIS B 2401	P34	33.7±0.33	3.5±0.10

素敵な創造～人へ·未来へ
NIPPO VALVE
株式会社 日邦バルブ
本社·松本工場　〒399-8750　松本市笹賀3046
北海道工場　〒059-1362　苫小牧市柏原6-120
https://www.nippov.co.jp/

お問い合わせ先

東京支店	TEL.03-5338-2231	FAX.03-5338-2230	松本営業所	TEL.0263-50-5221	FAX.0263-50-5222
札幌営業所	TEL.011-232-0471	FAX.011-208-2260	名古屋営業所	TEL.052-735-6511	FAX.052-735-6510
仙台営業所	TEL.022-213-3177	FAX.022-213-3266	大阪営業所	TEL.06-6210-2563	FAX.06-6210-2564
北関東営業所	TEL.0283-22-7547	FAX.0283-20-1069	広島営業所	TEL.082-232-8117	FAX.082-232-8053
神奈川営業所	TEL.042-741-7121	FAX.042-765-7157	福岡営業所	TEL.092-472-5128	FAX.092-477-2057

ISO 9001・14001 認証取得

この説明書に記載した内容は予告なく変更することがあります。
また、許容差のない数値は標準値を示します。呼び寸法・呼び径と実寸法とは同一ではありません。